

第15回

JTA公認翻訳専門職資格試験

Certified Professional Translator Test

< 受験案内 >

IT時代の

プロフェッショナル・トランスレーターへ

社団法人日本翻訳協会（JTA：Japan Translation Association）では、永年にわたって翻訳者の能力を認定する<翻訳技能認定試験（翻訳検定）>を実施し、延べ3万人以上の方が受験されました。

2008年12月より、名称を「JTA公認翻訳専門職資格試験」と改め、従来の会場試験からインターネットによる在宅型の試験に変更、試験内容も一新しました。

今後のビジネスコミュニケーション、特に翻訳ビジネスにおいては、インターネットを使いこなすこと、すなわちIT能力が重要な要素となってきます。今では世界のビジネス市場は、多言語マーケットとなっており、グローバル化の深化によって、ITツールを使えば、世界のどこにいても翻訳サービスが提供できます。そこで、日本翻訳協会はこのような時代の変化に対応して、世界に通用する、新たなプロフェッショナル・トランスレーターの実像を構築し、世に広めるとともに、その専門能力の資格認定をすることが必要であると考え、2008年12月7日（日）に第1回、その後3ヵ月ごとに「JTA公認翻訳専門職資格試験」を実施してきました。

- ・ 「JTA公認翻訳専門職資格試験」は、英語部門と中国語部門があります。
- ・ 1日で4科目受験もできますし、単科受験もできます。
- ・ 1日の試験では2科目が一番集中できますので「翻訳文法技能試験+翻訳IT技能試験」または「翻訳専門技能試験+翻訳マネジメント技能試験」のパターンをお勧めします。

受験を希望される皆様には、以下の内容をよく読み、<受験申請書・受験記入上の注意>に従って出願手続きをしてください。

ご健闘をお祈りしております。

第15回「JTA 公認翻訳専門職資格試験」 実施概要

- 実施日 : 2012年6月3日(日)
- 申込締切 : 2012年5月25日(金)

- 試験時間 : ① 4科目 10:00~15:45
② 翻訳文法技能試験+翻訳IT技能試験 10:00~12:45
③ 翻訳専門技能試験+翻訳マネジメント技能試験 13:30~15:45
(休憩時間を含む)

- 試験科目 :
<英語部門・中国語部門>
1) 翻訳文法技能試験(Language & Cultural Competence Test) : 10:00~11:30
<共通部門>
2) 翻訳IT技能試験(IT Competence Test) : 11:45~12:45

3) 翻訳専門技能試験(Expert Competence Test) : 13:30~15:00
<英語部門>
以下の6つの分野から1分野を選択
① フィクション
② ノンフィクション
③ IR/金融
④ リーガル
⑤ 医学/薬学
⑥ 特許(IT)
<中国語部門>
以下の2つの分野から1分野を選択
① リーガル
② ビジネス一般

<共通部門>
4) 翻訳マネジメント技能試験(Managerial Competence Test) : 15:15~15:45

- 試験場 : インターネットによる在宅試験
- 受験資格 : 国籍、性別、年齢を問わず
- 受験料 : 4科目 : 21,000円(税込み)
3科目 : 15,750円(税込み)
2科目 : 10,500円(税込み)
1科目 : 5,250円(税込み)
- 合否判定 : 科目ごとに合否判定、ならびにグレードを示します。
- 資格取得 : 4科目のテスト全てに合格し、翻訳実務経験2年の実績審査を行った上で「JTA 公認 翻訳専門職」として認定します。

受験申込から合否の発表まで

4科目受験の方は「第15回 JTA 公認翻訳専門職資格試験 受験申請書」をご利用下さい。

2科目受験及び単科受験の方は「第15回 JTA 公認翻訳専門職資格試験 単科受験申請書」をご利用ください。

①【受験申請書提出】

1. <受験申請書>をダウンロードし、必要事項を記入してください。

*受験する言語を選んでください。英語・中国語いずれかにチェックを入れてください

*翻訳専門技能試験<英語部門>は6つの専門分野うち1つを選択してください。

<中国語部門>は2つの専門分野うち1つを選択してください。

2. 下記の指定銀行に受験料を納付し、振込受領書（控え）を取得してください。

銀行名 三菱東京UFJ銀行

支店名 赤坂見附支店（064）

口座番号 （普）0019018

口座名義 社団法人日本翻訳協会（シャダンハウジンニホンホンヤクキョウカイ）

3. ご自身および振込受領証をデジタルカメラで撮影し<受験申請書>の所定の位置にデータを貼り付けてください。

4. 写真、振込受領書を貼り付けた<受験申請書>をPDF化してください。

5. PDFにした<受験申請書>を添付して下記までe-mail送信してください。

cpt0812@jta-net.or.jp

ご自身の写真、振込受領書の写真を所定の位置に貼り付けることができない方は、写真のまま添付データとして、<受験申請書>と同時にお送りください。

②【申請書受理】

<受験申請書>の記載事項、振込受領書等を確認のうえ

- ・受験番号
- ・インターネットの試験会場に入室するパスワード
- ・試験スケジュール
- ・受験心得 をe-mailで送信します。

③【試験当日】

解答を所定の手順で送信してください。

④【合否判定】

科目ごとの合否判定ならびにグレードは2012年7月中にメール及びホームページで発表します。

* 4科目合格した方には、2年以上の実務経験証明書を提出していただき、資格認定の審査をします。

受験申請書記入上の注意

1. 提出年月日には受験申請書の提出日を記入してください。
2. <JTAメンバーズ>の方は、会員番号を記入してください。
3. *印欄は記入しないでください。
4. 言語は、受験する言語 英語・中国語のいずれかから選んでください。
5. 翻訳専門技能試験の受験部門を一つ選択してください。
6. 氏名（フリガナ）、性別、生年月日、住所（フリガナ）、メールアドレス、電話番号を記入してください。年齢は、受験申請書申込現在の年齢を記入してください。
7. 学歴は、最終学歴を記入してください。卒業、中退、在学のいずれかを○印で囲み、例えば、「4年制4年卒業、4年制2年中退または2年制1年在学」のように記入してください。
8. 翻訳歴は、会社等で翻訳業務に従事した場合、翻訳会社に登録して仕事をした場合、自営あるいは派遣会社で翻訳の仕事をした場合など翻訳の従事暦を記入するとともに、それぞれ従事した年数ならびに合計年数を記入してください。
9. 学習歴は、各種学校等の通信あるいは通学教育等により翻訳の学習をした場合に記入してください。
10. 職業等欄は、該当するものを選んでください。
11. 技能認定合格歴欄には、翻訳技能認定試験を受験して取得した直近の年度、級、部門を記入してください。

12. 証明写真は、カラーで、最近3ヵ月以内に撮影したものに限ります。
デジカメ（携帯電話のカメラで可）で撮った画像を所定欄に貼り付けてください。

13. 受験申請書の所定欄に、受験料払込受領証を貼付してください。
デジカメ（携帯電話のカメラで可）で撮った画像を所定欄に貼り付けてください。